

清瀬市母子保健計画（素案）に対して提出された意見等の概要及び提出された意見に対する市の考え方

平成19年12月7日から平成19年12月26日までの間、清瀬市母子保健計画に対する意見募集を行った結果、32人の方から66件の意見が提出されました。

そこで、これらの意見を適宜要約し、項目ごとに整理したうえで、意見に対する清瀬市の考え方を取りまとめましたので、清瀬市パブリックコメント実施要綱第8条及び第9条の規定により次のとおり公表します。

《意見の分類及び件数》

1. 母子保健計画の理念・目標などに関するもの 7件
2. 母子保健に関わる現状に関するもの 59件

意見等の概要	意見件数	市の考え方（対応）
<p>1. 母子保健計画の理念・目標に関するもの</p> <p>平成15年の母子保健計画改定で施策の推進の推進体制の整備、「母子保健計画連絡会（仮称）」の設置と推進のための現状把握と課題の分析に基づいた施策の推進、そして、地域交流などの活動を推進する人材・サポーターの育成は、それぞれどのように行われ、今回の調査評価に現れたのかを知らせていただきたい。</p> <p>推進目標の成果が、関係部課の取り組み状況だけでなく、具体的指標と目標に沿った自己評価を出していただき、具体的な事業計画を出していただきたい。</p>	<p>1件</p> <p>1件</p>	<p>・「母子保健関係連絡会（仮称）」について平成9年の母子保健事業移管に伴い年1回乳幼児健診、母子保健事業スタッフの連絡会を実施していた。その後、実態に即したスタッフミーティングを充実させている。現在は、前回の計画の頃より母子保健事業を取り巻く環境の変化に伴い、新生児訪問指導員及び母子推進員スタッフ及び関係機関職員により構成する連絡会を、今年度よりスタートする予定である。</p> <p>・地域交流の活動を推進する人材、サポーターの育成について</p> <p>地域のNPO法人においては、平成15年7月ピッコロ、平成18年6月ウィズアイがそれぞれNPO法人を設立している。平成15年度から、妊娠中から子育てを学べる場・仲間づくり・サポーターの育成等を行っているNPO法人に、子育て支援課保健師等を講師として派遣し支援している。</p> <p>・この計画は、一部一課にとどまらず各々関係部署が関っており、母子保健計画の推進目標を掲げている。市においては、事業計画や事業報告について、健康センター運営協議会・児童センター運営委員会などに諮っている。</p>

意見等の概要	意見件数	市の考え方（対応）
<p>計画の理念の標語が変更になったのはなぜか。</p>	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標語は変えたが基本的考え方、理念は変更なし。
<p>市民の意識調査の中、「市や医療機関の乳幼児健診に満足しているか」の設問で、不満を明らかにしないと改善はできないのではないか。</p>	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診を含め母子保健事業に意見がよせられているが、それぞれ対応させていただいている。
<p>「健やか親子21」の中間答申の4つの観点を踏まえ清瀬の実情を報告してほしい。</p>	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健やか親子21」の各課題の取組目標においては、①保健水準の指標②住民自らの行動の指標③行政、関係機関等の取組の指標を3区分し、アンケート調査等に基づいて目標値の達成状況を確認するとともに、推進目標も掲げ報告している。
<p>「安心して子どもを預けられる」が目標に挙げているが、育児休暇を短縮し4月から預ける家庭が多い。家庭福祉員は考えているのか。</p>	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭福祉員について、現在はファミリーサポート事業や一時保育等保育サービスの充実により対応している。
<p>「清瀬版子どもの権利条約」の実現に向けた検討はどうなのか。</p>	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「清瀬版子どもの権利条約」について現在児童センターの運営委員会において「ころぼっくる憲章」が検討されており、こうした動きを見ていくこととする。

意見等の概要	意見件数	市の考え方（対応）
<p>2. 母子保健計画にかかわる現状</p> <p>理念Ⅰ、地域ぐるみで子育てがてきるまちに関して 子育て支援団体・子育てサークル・つどいの広場・働くママ等の支援の充実については、どうなのか。</p> <p>理念Ⅱ、生涯を通じた心とからだの健康づくりに関して 妊産婦への支援の充実・新生児訪問の支援についてはどうなのか。</p> <p>理念Ⅲ、子どもを育てやすい環境づくりに関して 保育サービス・子ども家庭支援センターの充実や、道路・公園等の整備はどうなのか。</p>	<p>24件</p> <p>8件</p> <p>27件</p>	<p>・子どもが健やかに育つためには、色々な人々との交流や支援が必要です。現在、地域で活躍されている子育て支援団体等との連携や、地域での活動のサポートも推進していきたいと考えている。子育てサークル代表者会の全体交流会を年2回実施し、サークルのネットワーク化や運営を支援する地域活動室を無料で提供し、お互いの子育ての情報交換や交流を支援している。</p> <p>・次世代を安心して産み、ゆとりを持って育てるために、妊婦健診費用の助成回数を増やす検討をしている。現在、新生児・乳児訪問は、全戸訪問を行なっている。再訪問については、必要により随時行っている。子育ての楽しさを伝えるとともに、氾濫している子育てに関する情報を整理し、子どもの個性にあった発育・発達を支援していく。また、子ども自身が各々の発達段階で獲得していくべき力を、親がどう支えていくかという親の育児力を高めるような支援をさらに推進していく。</p> <p>・子育てひろば連絡会を年2回実施、市内のひろばの現状把握の中で子育て支援の環境、連携を図っている。また、虐待防止のため要保護児童対策地域協議会を設置し、地域のネットワークを大切に関係機関の役割を果せる様に連携を深めている。関係機関から情報を収集し、対象となる要支援家庭に必要な支援を行っている。</p> <p>・安心して親子が集まれる公園や場の整備、防犯・防災対策、家族形態やライフスタイルの変化に合わせた多様な保育などの子育て環境の充実について、清瀬市長期総合計画や清瀬市福祉総合計画との整合性を図りながら充実を努める。小児病院の移転に関しては、東京都、医師会など関係機関との連携を図りながらその対応に努める。</p>

《 提出された意見等により基本的な考え方の修正を検討する事項 》

1. なし